

令和7年度周防大島高校学校運営協議会第1回会議 議事概要

1 日 時 令和7年6月24日（火）午後3時から午後4時30分まで

2 場 所 周防大島高等学校 安下庄校舎 会議室

3 内 容

（1）開会行事

- ア 校長挨拶
- イ 任命書の交付
- ウ 委員自己紹介

（2）学校運営協議会制度・会則について

- ア 周防大島高等学校学校運営協議会について
- イ 周防大島高等学校学校運営協議会会則について

（3）会長及び副会長選出

- ・ 会長に光田委員、副会長に石原委員を選出

（4）議事

- ア 本校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシーについて
 - ・ 昨年度からの変更なし。
- イ 本校の現状及び今年度の取組（教育課程・経営計画・組織編制等に関する事項）について
- ウ 質疑応答

Q：教育相談や寮運営の評価基準が他の項目と異なるのには理由があるのか。

A：理由はないため、他の項目と揃える。

Q：学校評価アンケートで「わからない」と回答する生徒・保護者が一定数いるようだが、何か対応できないのか。

A：本校の生徒は素直に「わからない」と答えがちである。「わからない」という回答を減らすために、生徒・保護者に向けて学校で取り組んでいることをアンケート実施時にあわせて伝えるなど、情報を提供していきたい。

Q：寮生の保護者向けに現在どのように情報を発信しているのか。

A：学校安全メールやウェブページ、学校からの文書で情報を発信している。

Q：学校安全メールは年度毎に解除される。中学校は解除されないのだが…。また、学校安全メールを上手く使えないのか。情報発信という点でいくらかでも活用できるのでは。

A：学校運営協議会委員については、昨年登録したメールアドレスで再登録する。また、どのように活用したら利便性が向上するかを検討する。

Q：昨年度と本年度の重点目標が全く同じなのはわかるのだが具体的な取り組みが全く同じなのは、何も考えてないと捉えられても仕方ないのではないのか。

A：経年の評価をみたいため、大きくは変えていない。加えて、大きく変更した年からまだ日が浅いというのも一つの理由である。

Q：昨年度の卒業生の進路状況はどうなのか。

A：例年と大きく変わっていない。国公立大学進学が2名。4年制大学進学者の人数も例年



通り。就職は10名ほど。島内就職者は数名。

Q：eスポーツ部について、どのような活動をしているのか。

A：部活動になって2年目。主な活動として、高校生向けのeスポーツの大会に参加。柳井グランドホテルの主催するイベントで生成AIの講座を聴講するなど、ITについて学ぶ機会も設定している。

Q：令和8年度から附属高校になるが、在校生や入学志願者に変化はあるか。

A：附属高校になることで全国募集の定員の制限がなくなる。東京で開催した「地域みらい留学」の説明会には57名の参加者があった。話が聞きたいと感じている中学生が昨年より多くなった。

Q：附属高校になると普通科一本になるが、地域創生科はどのような扱いになるのか。

A：今地域創生科で行っている科目は選択科目として取り入れる。附属高校の設置学科を普通科のみとした理由は、中学校3年生の段階で進路が明確に決まっている子は少ないことから、進路を早く決めるということも大切だが、進路選択の期間が長くなることにも大きな意義があると考えたためである。普通科の中でコース分けを行い、学習した内容が将来に生きるようなカリキュラムを編成していく。

Q：論理国語というのは、現代の国語と何が違うのか。

A：1年生で実施し必修科目となっているのが「現代の国語」。説明的な文章を読解したり、文章を書いたりするのが主な内容。「論理国語」は「現代の国語」より文章のレベルが上がっており、自分で文章を書く際には内容の濃い物が書けるよう指導している。



Q：附属高校になることに関して不明な点が多いが、一般の方への情報発信の改善策は見つかったのか。

A：周防大島町が毎月発行する「広報すおう大島」に2カ月に1回程度のペースで附属高校の記事を掲載するとともに、県立大学のウェブページには中学生とその保護者等に向けての説明動画をあげている。

Q：寮生の保護者に対し、どのような情報がほしいかを調査しているか。

A：これまで検討したことはない。アンケートの実施を検討する。

(5) その他

ア 今年度の会議の開催予定について

- ・ 第2回を令和7年10月8日（水）の午後に実施。熟議を主な内容とする。熟議のテーマとして良いものがあればお知らせいただきたい。

イ 山口県立大学附属高等学校設置準備室から

(6) 閉会行事

令和7年度周防大島高校学校運営協議会第2回会議 議事概要

- 1 日 時 令和7年10月8日（水）午後1時30分から午後3時まで
- 2 場 所 周防大島高等学校 安下庄校舎 視聴覚教室及び4階ホームルーム教室

3 内 容

（1）開会行事

- ・ 校長挨拶
- ・ 会長挨拶

（2）議事1 令和7年度の取組について

〔事務局説明〕

- ・ 第1回学校運営協議会の概要について
- ・ 安下庄校舎の取組について
学校行事、進路指導の取組、教科「地域創生」 等
- ・ 久賀校舎（福祉専攻科）の取組について
令和7年度末の廃止予定、生徒の状況、施設実習 等



（3）熟議について（手順等）

〔事務局説明〕

ア テーマ

「それぞれの探究活動で示された周防大島の課題解決策をより実現可能なものとするためにはどのような視点や調査が必要か。」

イ 熟議の手順・グループ分け

（4）熟議

5グループ（生徒3名、教員2～3名、委員・オブザーバー2～3名）それぞれによる熟議を実施

〔発表まとめ〕

Aグループ：周防大島の交通情報の発信について〔会場：2年A組〕

- ・ 生徒3名、教員3名、委員等2名で、周防大島での交通情報の効果的な発信方法について話し合った。

Bグループ：周防大島での竹害対策について〔会場：2年B組〕

- ・ 生徒3名、教員3名、委員3名で、周防大島での竹害の現状と、竹を活用し観光客を呼び込むイベントの実施可能性について話し合った。



Cグループ：ミカンの皮の活用について〔会場：2年C組〕

- ・ 生徒3名、教員3名、委員3名で、ミカンの皮を使った入浴剤（バスボム）の開発に関する課題と解決策について話し合った。

Dグループ：周防大島での「体験」の提供について〔会場：2年D組〕

- ・ 生徒3名、教員3名、委員2名で、1泊2日の島内ツアーの実施に向け、内容等について話し合った。



Eグループ：SNSによる周防大島の情報発信について〔会場：視聴覚教室〕

- ・ 生徒3名、教員3名、委員2名で、SNSを用いた周防大島の情報の効果的な発信方法について話し合った。



〔会長による熟議のまとめ〕

- ・ 今回の熟議での議論を今後の探究活動に生かすとともに、地域課題の解決に自分たちも関与できるのだという実感をもち、自信をもって活動を行ってほしい。



《全体での発表：意見共有》



《講評》

（5）閉会行事